

平成30年度 高瀬小学校 学校評価羅針盤

評価対象	評価項目	具体的数値項目	今年度の方策	児童	保護者	教職員	自己評価	3学期の改善策
Ⅰ 確かな学力の向上	①できる喜び	児童は、授業が分かり、できた実感や分かった喜びを味わっていますか。	授業で「できてよかった、分かって嬉しい」と解答する児童が80%以上	94		93	A	○3学期に補充発展学習として評価資料集の活用を進める。
	②基礎・基本の徹底	教科等の基礎・基本が、児童に確実に定着していますか。	市販テストで正答率8割以上の児童が80%以上	91	83	95	A	○授業終末の振り返り及び適応問題の実施を重視した授業を行っていく。
	③きめ細かな指導の改善・充実	児童の実態に応じた指導の工夫がなされていますか。	授業の内容が分かると回答する児童が85%以上	90		88	A	教師アンケートの質問項目の視点を分かりやすくするために、現在実施していない習熟度別クラス編成時の項目は削除する。
	④家庭学習の充実	家庭で自主的に学習する態度が、児童に身に付いていますか。	宿題以外で毎日家庭学習に取り組んでいる児童が90%以上	80	78	90	B	家庭学習の範囲が分かりにくいいため、具体的な内容(宿題・塾の宿題・読書・家庭科領域なども含めて)を表記する。
	⑤校内研修の充実	研修テーマを自らの課題とし、積極的に授業を公開したり、参観したりしていますか。	研修テーマを意識し、積極的に授業を公開あるいは参観したと回答する教師が90%以上	83		100	A	○他教科にも広げる。
	⑥キャリア教育の充実	各教科の学習を通して、学ぶ意義や学び方を理解させ、学習意欲を高めるとともに、将来自立する力を高めていますか。	授業で学ぶ意義や学び方を理解させるよう努めたと回答する教師が90%以上	89		100	A	○今後も教育活動全体をととして、キャリア教育の指導を継続する。
	⑦ふるさと富岡の学習の推進	富岡製糸場や地域の特徴を探究する活動を取り入れて、主体的な学習を促していますか。	「高瀬地区や富岡市について知っていることが増えた」と回答する児童が80%以上	86		90	A	○今後も各学年での取組を継続していく。
Ⅱ 豊かな人間性の育成	⑧道徳教育の充実	道徳教育推進教師を中心に、体験的な活動を生かし、考え議論する道徳指導の展開を工夫していますか。	体験的な活動を生かし、考え議論する道徳を行っていると回答する教師が90%以上	89		90	A	○授業の効果が高まるよう、ローテーション道徳を充実させていく。
	⑨心のこもった挨拶	誰に対しても進んで元気に心のこもった挨拶をする児童が育っていますか。	元気に心のこもった挨拶を進んでいると回答する児童が80%以上 教師が90%以上	89	91	100	A	○個人差がなくなるよう、指導を充実させていく。
	⑩人権意識の高揚	いじめを見て見ぬ振りをせず、自分がされて嫌なことはしない児童が育っていますか。	いじめを見て見ぬ振りをせず、自分がされて嫌なことはしないと回答する児童が100%	92	90	100	B	○自らの行動を振り返る時間を確保し、指導を継続していく。
		教師は、常に人権を意識して行動し、自身の人権感覚を磨いていますか。	常に人権を意識して行動したと回答する教師が100%			100	A	○これからも研鑽に励む。
	⑪積極的な生徒指導の充実	教師は、児童一人一人の居場所のある学級づくりを心がけていますか。	自由に意見が出し合える授業づくり、学級づくりに努力したと回答する教師が100%	91		100	A	○今後も学級経営を充実させていく。
	⑫きめ細かな児童理解	学校は、学習面、生活面で配慮が必要な児童について、組織的に理解し、対応していますか。	配慮が必要な児童とその対応について理解していると回答する教師が100%			100	A	○今後も組織的な対応を継続していく。
	⑬読書活動の充実	学校は、図書室環境等を充実させ、保護者による読み聞かせ活動を継続していますか。	図書館図書の利用数、読み聞かせ協力保護者数が昨年度より多い。	78		74	B	方策への追加：ノーマディアデーを呼びかける。図書便りで先生方のおすすめの本を紹介し児童の読書への関心・意欲を高める。
		学校は、児童が家庭でも読書をするよう指導を工夫していますか。	家でも読書をしていると回答する児童が80%以上	74	55	84	B	○学年・学級・図書便りでの呼び掛けを強化していく。
	⑭キャリア教育の充実	夢や希望をもち、将来社会的に自立できる児童が育っていますか。	自分のよさや将来の夢を理解している児童が80%以上 友達と協力して係や委員会活動ができる児童が80%以上	94	88	95	A	○夢ファイルの継続的な活用を行う。
	⑮ふるさと富岡の学習の推進	郷土に誇りと愛情をもった児童が育っていますか。	「高瀬・富岡が好き」と回答する児童が80%以上	92	47	90	B	○児童の活動について便りなどで詳しく紹介しすぎることなく、話題提供となるような便りを工夫して作成する。
Ⅲ 健やかな体の育成	⑯自問活動の充実	自ら考え、実行する意義を理解している児童が育っていますか。	かがやきタイムを実践していると回答する児童が85%以上	91		100	A	○ルールがさらに徹底できるよう、指導を継続する。
	⑰健康で活力のある子ども	休み時間など元気よく外で遊び、自分の健康を自分で管理できる児童が育っていますか。	元気よく外で遊び、健康に気を付けていると回答する児童が85%以上	77	74		B	○指導を継続し、3学期以降体育の時間に高瀬っ子体操やサーキットトレーニング(一部可)を取り入れたり、休み時間に室内にいる児童にも可能な範囲で高瀬っ子体操(一部可)を児童、教師ともに取り組む。
	⑱基本的生活習慣の定着	「早寝・早起き・朝ご飯」を実践し、睡眠や食事を大切にしている児童が育っていますか。	「早寝・早起き・朝ご飯」を実践している児童が85%以上	97	97		A	○規則正しい生活習慣の大切さを、今後も継続して指導していく。
	⑲安全・安心な学校	安全マップを活用して、自分で自分の安全を守る児童が育っていますか。	通学路を中心に危険な場所が分かり、注意していると回答する児童が85%以上	97	93		A	方策へ追加：学期に1回(6月頃・11月頃・1月頃)の業前活動時と3月に(計4回)通学班会議をもち、登校の仕方についてふり返りをする。
		学校は、教師の危機管理意識を高め、安心して生活できる学校づくりを進めていますか。	月1回の安全点検をはじめとして、常に安全に配慮していると回答する教師が90%以上	89		96	B	○規範意識がより高まるように、学級での指導を継続していく。
	⑳楽しい給食	給食を通して、食の大切さを理解する児童が育っていますか。	給食をバランスよく残さず食べようと努力していると回答する児童が90%以上	92		100	B	方策へ追加： ・配膳時間を短縮し、食べる時間の確保ができるよう、当番に指導する。 ・盛り付けでは、1食分の量を分け切るように指導する。 ・苦手な食材もバランスよく食べることことを呼びかけ、食べようと努力する態度を養う。

※アンケートの選択肢は、それぞれ「4＝大変よい、3＝よい、2＝もう一歩、1＝課題がある」となっています。4と3を合わせた回答率が評価の目安となります。
※児童や保護者、教員のアンケートを参考にしながら、職員全員で児童の学校内外での様子を総合的に判断し、評価を行いました。